



おとがわ



ふお～ゆ～

校長室だより

第 143 号

R6.1.11

文責 中西 勉



2024年<辰年>のスタート ～大谷翔平選手からのプレゼント～

2024（令和6）年が始まりました。しかし、元日早々、石川県能登地方で、最大震度7を記録する大地震が発生しました。現地の学校も9日（火）から3学期が始まりますが、被害を受けた学校の多くは、始業式を行えない状況であるとテレビのニュースで報じられていました。私たちの岡崎市でも、この地震で震度3を観測しましたが、特に被害はなく、無事に始業式を行うことができました。

始業式では、校長の話の最初に、「あたりまえ」の反対の言葉は“ありがたい”です。男川小では、“あたりまえ”のように3学期が始まりましたが、“あたりまえ”であることは、とても“ありがたい”ことなのです」という話をしました。男川っ子たちは、この言葉に真剣に耳を傾けていました。

続いて、男川小にも届いた大谷翔平選手からのプレゼント（右の写真のグローブ3個）を男川っ子に披露しました。そして、そのグローブを使い、男川っ子を代表してソフトボール部キャプテンの片岡拓大さんと私が、令和6年にちなんで「6球」キャッチボールをしました。男川っ子からは拍手が沸き起こり、子供たちの優しさと温かさを感じました。そして、今後、私は子供たちと一緒にキャッチボールをすることを約束しました。



最後に、大谷選手から学んでほしいこととして、「夢」を「目標」にするという話をしました。大谷選手は、プロ野球のドラフト会議で8球団から1位指名を受けることが「夢」でしたが、それを「夢」のままにするのではなく、どうしたら実現できるかを自ら考え、はっきりと「目標」を見定めて努力を重ねたことを紹介しました。そして、その努力が実



▲互いに笑顔でキャッチボールをする拓大さんと私

を結び、今や誰も肩を並べることができないほどの世界的なスーパースターになったことを伝えました。男川っ子も、大谷選手のように、自分の「目標」に向かって努力を重ねられることを願っています。



自分の目標を自覚した「校内書き初め会」

昨日、校内書き初め会を行いました。最初に、各担任が子供たちに、書き初めは今年の自分の目標をしっかりと意識するために行う行事であると伝えました。子供たちはそのことを十分に意識しながら、静かな落ち着いた雰囲気の中で真剣に筆や鉛筆を走らせました。一人一人が心を込めて書いた文字からは、それぞれの今年にかける思いがよく伝わってきました。



▲「強い決意」と書く5年生